

ジャンル/小説

Novelist



稲垣 足穂

INAGAKI Taruho

代表作

『一千一秒物語』（1923年）
 『星を売る店』（1926年）
 『天体嗜好症』（1928年）
 『キタ・マキニカリス』（1948年）
 『少年愛の美学』（1968年）
 『ライト兄弟に始まる』（1970年）
 『タルホ座流星群』（1973年）
 『天族ただいま話し中』
 （1973年／対談集）

ほか多数

活動略歴

1900年 大阪市船場に歯科医の次男として生まれる。
 1916年 飛行家を目指し上京「日本飛行学校」の第一期生を志望するも強度の近視で不合格。
 1923年 『一千一秒物語』を「イナガキタルホ」の筆名で金星堂より刊行。『文藝春秋』『新潮』『新青年』を中心に作品を発表。
 1926年 『文藝時代』の同人になり江戸川乱歩と出会う。
 1936年 アルコール、ニコチン中毒により執筆が滞る。
 1950年 **著作の改稿を始め、亀山巖の薦めで小谷剛主宰の同人誌『作家』に160編ほどの作品を精力的に発表する。**
 1969年 第1回日本文学大賞を受賞。この年から『稲垣足穂大全』が刊行、タルホブームが起きる。
 1977年 京都にて死去。

参考・出展元／『稲垣足穂』白川正芳 冬樹社 1976年
 『稲垣足穂の世界』中野嘉一 宝文館出版 1984年

INAGAKI Taruho (1900– 1977/ Genre ; modernist literature, Essayist, Poets)

From the 1920s to the 1970s , he published numerous novels with motifs such as abstraction, desire for flight, love of mechanics, eroticism, celestial bodies and objects, and in the 1960s he created a huge boom as an artist. From 1950, he published his works in the self-published magazine "Sakka (novelist)" run by Kotani Tsuyoshi, and was commuting to Nagoya.

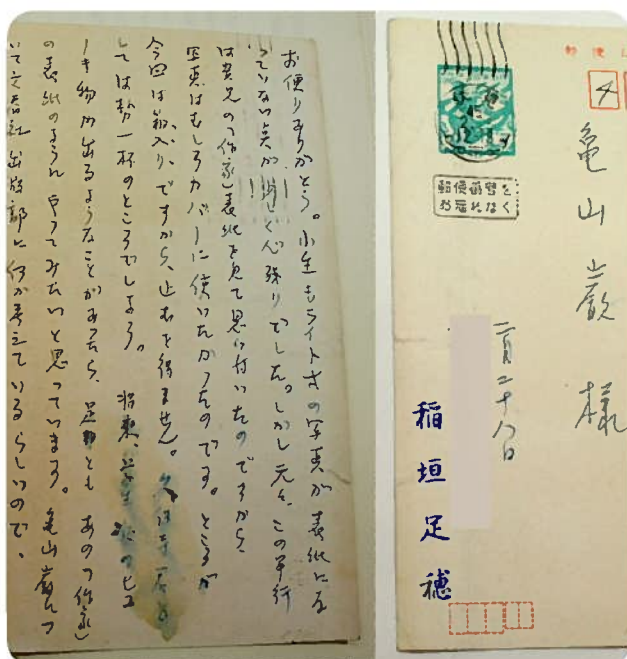
監修/山下達治氏 (おいち文芸フォーラム 代表)

ジャンル / 小説

Novelist

名古屋市収蔵の資料
／稲垣足穂

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Inagaki Taruho in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.←稲垣足穂の直筆葉書。宛先は
下段左の本のイラスト含む装
丁をした亀山巖。↑稲垣足穂・著「ライト兄弟に始まる」。
飛行機械への呪物的愛と憧憬的追憶を語る
表題作ほか3篇収録。↑左「天族ただいま話し中」はのちに対談集と
して出版。対談相手は、小松左京、五木寛之、
大橋巨泉、草柳大蔵、亀山巖、加藤郁乎、中村宏、
野坂昭如。
右 野川友喜・編集による稲垣足穂の冊子。上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。